

平成 30 年度事業報告

■運営の概要

平素より全国の会員、指導者の皆様には、才能教育運動推進のため多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

平成 30 年度の事業が終了しましたので、その概要をご報告いたします。

鈴木鎮一先生生誕 120 年にあたる今年度、甲信地区指導者会と合同で 10 月に記念コンサートを開催しました。当日は、鈴木先生の初期の生徒さんでもある鈴木秀太郎先生と豊田耕児名誉会長による演奏、東誠三先生による演奏のほか、豊田先生指揮による甲信地区指導者弦楽団による演奏で鈴木先生の功績をたたえました。

また、例年開催している夏期学校や全国指導者研究会も充実した内容で行われました。

夏期学校は、異常気象ともいえる猛暑の中での開催となりましたが、実行委員会を中心に十分な事前準備が行われたおかげで、大きな事故もなく成功裏に終える事ができました。

本会の重要課題である指導者養成は、松本の国際スズキ・メソッド音楽院での養成から、初級・准指導者制度を中心とした養成へと本格的に移行しました。

自宅近くの担当指導者から指導を受ける事で指導者資格を得られるこの制度を利用して、多くの指導者を養成していきたいと考えており、3 月には指導者を目指す方に対する説明会も実施しました。

新年度も、スズキ・メソッドの PR と合わせて、スズキの指導者の PR も行いながら指導者養成に努めたいと思います。

会員数の動向については、年間 431 名の減少があり昨年度の 289 名と比べても大きな減少数となりました。退会者総数は前年と大きく変わらない中で、入会者総数は 100 名以上減少している事から、指導者、会員、理事会が一丸となって入会者の増加に注力する事が重要であると考えています。

その一環として、公式 HP のリニューアルを進めています。まず初めに教室検索ページの変更を行い、指導者自身が教室の情報をリアルタイムに発信できるようにしました。引き続き他のページの改修も進めており、Web 検索で教室を探している方にスズキ・メソッドの魅力を伝えられるように対応を進めます。

財務状況は、会員減少に伴い収入減少が続いていますが、事業内容の見直しや経費削減によって、安定した運営をしています。再来年に計画しているグランドコンサートや、事務局のシステム開発に必要な積み立てを行うなど、計画的な運営ができていますが、これ以上会員の減少が続くと各事業の縮小など本会運営に影響を及ぼす可能性がありますので、この先もスズキ・メソッドの活動を続けていくために会員増加に向けた対策が急務の課題です。

本会が 70 年前から実践している非認知能力育成の重要性が、現在になって認識され始めました。

スズキ・メソッドの特徴と実績をより多くの方に伝えられるように活動して参りますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

■公益目的事業報告

I 講座、セミナー、育成

(1) 第 67 回夏期学校

開催日程：平成 30 年 7 月 29 日（日）～8 月 3 日（金）

開催場所：まつもと市民芸術館、あがたの森文化会館、キッセイ文化ホール、深志神社、松本市勤労者福祉センター、エクセラン高等学校、松本市立源池小学校、才能教育会館、スズキ・メソッド研究所

アメリカ、中国、オーストラリア、イギリスなど海外からの参加者約 200 名を含めた、約 2,300 人を迎えて夏期学校を開催しました。

限られた会場での開催となりましたが、プログラムの工夫を行い、内容の濃い夏期学校となりました。猛暑の中での開催となりましたが、参加生徒は曲目ごとの教室レッスンやグループレッスン、招待講師によるマスタークラスを受講したほか、コンサートに出演するなど充実した時間を過ごしました。

参加生徒数

	ヴァイオリン科		チェロ科		フルート科		ピアノ科		合 計	
	生徒数	前回比	生徒数	前回比	生徒数	前回比	生徒数	前回比	生徒数	前回比
国内	580 名	-7	89 名	4	20 名	-2	107 名	0	796 名	-5
海外	64 名	18	1 名	-4	3 名	-2	13 名	7	81 名	19
合計	644 名	11	90 名	0	23 名	-4	120 名	7	877 名	14

(2) 2018 年全国指導者研究会

開催日程：平成 30 年 6 月 4 日（月）～6 月 7 日（木）

開催場所：まつもと市民芸術館

全国の指導者が松本に集い、特別講師のほか外部講師をお招きして全国指導者研究会を開催しました。

参加指導者が、研究発表や楽器科ごとの指導研究を受講したほか、4 日には、豊田名誉会長による基調講演会やチルドレンコンサートを、5 日には竹澤恭子先生、川本嘉子先生、東誠三先生によるコンサート開催しました。また、6 日には酒井邦嘉先生、早野会長、宮前文明先生による鼎談や、村尾玲美先生によるレクチャーが、7 日には田中正也先生によるレクチャーも開催しました。

(3) 0～3 歳児教室

開催日程：通年

開催場所：全国 8 ヶ所 所沢、鎌倉・藤沢、津田沼、長野、富山、名古屋、堺東、西宮
(自主運営教室：麻布、松本)

0～3 歳児とその保護者を対象に全国 8 ヶ所で教室を開設し、年度末現在 82 組の親子が受講しています。0～3 歳児教育に対する保護者の関心は高く、この教室の受講から楽器科教室に移行する生徒も多いことから、村尾忠廣先生に特別講師に就任いただき、専用の教材開発を進めているほか、0～3 歳児教室の指導者認定行うなど、この事業を積極的に進めています。

(4) 生涯学習教育

子どもに限らず、大人も音楽に親しむ機会を作るため、専用の HP を公開して教室案内を行っています。

今後は、大人が参加しやすい事業を開催するなど、生涯学習としての音楽教育も積極的に進めていきたいと考えています。

(5) 准指導者制度、初級指導者制度による指導者養成

開催日程：通年

開催場所：研修生在住地域 他

スズキ・メソッドの指導者認定を目指し、准指導者養成制度研修生 2 名（V 科 1 名、C 科 1 名）が日々研鑽を積んでいます。

また、准指導者制度では 3 名、ピアノ科初級指導者制度では 5 名の新指導者が誕生しました。

また、更に多くの指導者育成を進めるため、3 月 26 日に「東京交響楽団クラシックスペース 100」

にて指導者養成事業の説明会を開催しました。

指導者認定者

正指導者認定者 小杉雅子(V) 清水 歩(V) 土田多希(V) 安田麻理(V)
森 久子(V復職)

准指導者認定者 堤 一季(V) 堀部みき(V) 宮地亜美(P)

初級指導者認定者 川口紗奈江(P) 隅亜優香(P) 竹内来夢(P) 田附彩織(P)
屋宜美海(P)

(6) 卒業検定

開催日程：平成30年10月～平成31年3月

生徒の目標と意欲作りを目的に卒業検定が行われ、下記のとおり卒業認定されました。

平成30年度卒業生数

	ヴァイオリン科		チェロ科		フルート科		ピアノ科		ヴィオラ		合 計	
	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比
前期初等科	523名	25	61名	10	5名	-7	462名	22	1名	0	1,052名	51
初等科	420名	25	50名	10	9名	1	291名	-111	1名	1	771名	-74
前期中等科	363名	-25	—	—	4名	0	242名	-54	1名	1	610名	-78
中等科	338名	41	30名	-12	6名	1	179名	-44	0名	-1	553名	-15
前期高等科	258名	-33	35名	9	1名	-1	144名	-32	0名	0	438名	-57
高等科	203名	-45	35名	23	3名	0	124名	12	0名	0	365名	-10
課程卒業	129名	-12	15名	-3	2名	0	61名	-15	0名	0	207名	-30
研究科A	86名	-5	15名	2	0名	-3	63名	-2	0名	0	164名	-8
研究科B	77名	5	13名	-1	3名	1	50名	-15	0名	0	143名	-10
研究科C	62名	8	13名	4	1名	0	—	—	0名	0	76名	12
合 計	2,459名	-16	267名	42	34名	-8	1,616名	-239	3名	1	4,379名	-219

II 調査、資料収集

(1) 資料収集と整備及び公開

スズキ・メソッドの情報発信のため、機関誌と才能教育通信を刊行したほか Web マガジンの MonthlySuzuki を毎月1日に配信しました。

機関誌 201号～203号、通信 783号～786号、3・4月合併号

MonthlySuzuki 記事 84本

資料整理とデジタル化作業

過去の音声や映像、文書等を長期保存するためのデジタル化作業を進めました。

(2) 指導者による研究

教育部運営委員会

平成30年8/19、11/26 平成31年2/10 令和1年6/2・3 (松本)

平成31年4/22 (Web)

指導者から選出された委員により、教育部に係わる事業、制度等に関する検討を行いました。

スズキ教育法委員会

平成30年11/25、平成31年1/26、2/10 (松本)

平成30年9/26、平成31年1/15、3/1 (Web)

平成31年1/26 (研究会)

ヴァイオリン科研究会 平成31年1/27 (松本)

チェロ科研究会 平成30年11/28・29 (諏訪)

フルート科研究会 平成30年11/22 平成31年2/28 (松本)

ピアノ科研究会 令和1年5/12 (東海)

各科委員会 随時

(3) 信州大学との共同研究

人文学部の高瀬准教授を中心に研究が進められています。

(4) 東京大学との共同研究

音楽の習得や演奏評価に関係する脳メカニズムを特定するために、東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授と共同研究を進めています。

この研究の経過は全国指導者研究会等で報告されており、最終成果は国際誌に査読付論文として発表され、音楽及び脳科学の学界に貢献することが期待されます。

Ⅲ 主催公演

(1) 鈴木鎮一生誕 120 周年記念コンサート

開催日程：平成 30 年 10 月 7 日（日）

開催場所：才能教育会館ホール

甲信地区指導者会との共催で鈴木鎮一先生生誕 120 年を記念するコンサートを開催しました。

鈴木先生の初期の生徒さんでもある鈴木秀太郎先生と豊田耕児名誉会長による演奏、東誠三先生による演奏のほか、豊田先生指揮による甲信地区指導者弦楽団による演奏で鈴木先生の功績をたたえました。

(2) ピアノ科卒業記念演奏会

開催日程及び開催場所：

甲信地区 平成 31 年 3 月 21 日（木）才能教育会館ホール

関東、北海道・東北地区 平成 31 年 3 月 23 日（土）中野 ZERO 大ホール

沖縄地区 平成 31 年 3 月 23 日（土）沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール

関西、中国・四国、九州地区 平成 31 年 3 月 29 日（金）豊中市立文化芸術センター大ホール

東海、北陸越地区 平成 31 年 4 月 7 日（日）東海市芸術劇場大ホール

ピアノ科卒業式と卒業演奏会を上記のとおり開催しました。

(3) 鈴木鎮一記念館コンサート

開催日程：平成 30 年 7 月 22 日（日）第 12 回子どもたちによるコンサート

平成 30 年 9 月 2 日（日）香月麗チェロコンサート

開催場所：鈴木鎮一記念館

入場無料のコンサートを開催して、音楽に親しむ機会を広く提供しており、毎回多くの方にご来場いただいています。

Ⅳ 助成

(1) 奨学金事業

受給申請がなかったため、今年度は実施しませんでした。

Ⅴ 地域文化活動協力

(1) 情操教育事業（松本市内において通年）

松本市と共同で市立幼稚園・市立保育園においてCD鑑賞を通じた情操教育事業を行っています。また、松本市近郊の指導者が中心となり、市内約半数の幼稚園・保育園を対象に訪問演奏を実施しました。

(2) 演奏協力（随時）

自治体や各種団体からの要請に基づき歓迎演奏などを行い、好評を得ています。

(3) 鈴木鎮一記念館の管理運営（通年）

松本市所有の鈴木鎮一記念館の指定業者として、来館者への対応等の管理運営を行うほか、無料のコンサートを開催しています。

(4) 学校法人長崎日本大学学園との協力

スズキ・メソードを通して音楽を愛好し、高い演奏技術を持つ人材を育成し、また、抱擁能力のある人間性をつくる教育をもって地域文化の向上に貢献するため、長崎日本大学学園からの要請に基づき本会認定指導者を派遣しています。

(5) 学校法人博多学園との協力

学校法人博多学園の併設校博多高等学校看護科のスズキ・メソードによる音楽授業実施のため、本会認定指導者を派遣しています。

(6) スズキ・メソード幼児教育研究会との協力

幼稚園教育におけるスズキ・メソードの実践に協力するほか、本会認定指導者を派遣して園児に対する音楽指導を行っています。

(7) スズキ・メソード認定指導者派遣要請に対する指導者派遣

全国の幼稚園、保育園からの指導者派遣要請に応じて、本会認定指導者を派遣し正課プログラムとしてヴァイオリンの指導を行っています。

VI 支援

(1) 災害支援（随時）

東日本大震災の災害支援の一環として、郡山支部に対して支部運営費等の補助を行いました。

VII その他

(1) 広報活動（随時）

・ MonthlySuzuki や Facebook などを通じて、積極的に情報発信を行いました。

・ 3月1日～4月21日に東京都内の教室において無料体験キャンペーンを開催しました。

今回は、スズキ・メソードが草創期から深い信頼を得ながら、生徒を増やす事につながった会員からの「口伝え」という原点に立ち戻り、現会員から紹介していただく形でキャンペーンを進めました。

(2) 副教材販売（随時）

ピアノ科教則本など、指導に必要な副教材の販売を行いました。

(3) 代教事業（随時）

本会認定指導者が病気等により指導ができなくなった際の代教申請の受付と、本会認定指導者の派遣を行いました。

■収益事業

I 才能教育（スズキ・メソード）の関連商品の開発・企画・制作・販売

既存のスズキ・メソードの書籍・CD等関連商品の販売を行いました。

実施時期：通年

II 所有建物等の賃借等

本会が所有するスズキ・メソード研究所、吉祥寺教室、西武教室を貸し出して家賃収入を得るほか、才能教育会館のホールを貸し出して使用料を得ています。

実施時期：通年

■法人活動

I 会議

- (1) 理事会（平成 30 年 7/28, 8/20、11/25、平成 31 年 2/11, 4/21）
本会運営に係わる事項の検討、決議等を行いました。
- (2) 第 7 期総会
実施時期：平成 30 年 8 月 20 日（月）
平成 29 年度決算書類や役員改選などを審議しました。
- (3) その他必要に応じた会議
実施時期：必要に応じて

II 国際スズキ協会および海外のスズキ協会との連携

- (1) 国際スズキ協会理事会への出席
実施時期：平成 30 年 10 月 15 日（月）～ 17 日（水）
実施場所：ニューヨーク
ISA プレジデントの豊田耕児名誉会長、TERI 代表理事の早野龍五会長が出席しました。
- (2) 国際スズキ協会楽器科別委員会への出席
実施時期：平成 30 年 10 月 15 日（月）～ 17 日（水）
実施場所：ニューヨーク
フルート科委員会に宮前丈明先生が出席しました。
- (3) 海外のスズキ協会からの招聘に対する本会認定指導者の派遣
下記のとおり会長および本会認定指導者等の派遣を行いました。

平成 30 年 7 月	鈴木 裕子先生 (V)	2018 Suzuki National Conference (オーストラリア)
平成 31 年 2 月	曾田 義嗣先生 (V)	European Suzuki Viola Gathering 2019 (スペイン)
平成 29 年 2 月から	菅原 尚子先生 (P)	Hong Kong Kinder U Suzuki Academy へ派遣中 (香港)
平成 30 年 7 月	高橋利夫名誉教授 (F)	2018 Suzuki National Conference (オーストラリア)